



東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「よく学び よく遊べ」

令和4年9月20日

NO. 23

校長 白水 聡

地域の方から学ぶ（各学年の学び）

1学期も数多くのゲストティーチャーの方々にお越しいただき、子供たちの学びを支えていただきました。今学期もさっそくそのような教育活動が始まっていますのでご紹介します。



9月12日には4年生が社会科「自然災害から命を守る取り組みについて」の学習の一環で、役場の防災交通係の前平様と高坂様にご来校いただきました。

東彼杵町の災害の歴史や防災の取組について教えていただきました。毎年6月に防災会議を行っているそうです。避難所で使用する簡易ベッドもを見せていただくなど、子供たちのために多くの準備をしていただき、ありがたかったです。

学習の最後には、「自助、共助、公助」の言葉の意味も教えてくださいました。また、「自然を守ることが水害を防ぐことにもつながると思います。」というメッセージも心に残りました。

9月13日には、3年生が社会科の「店ではたらく人々の仕事」の学習で「彼杵の荘」へ見学に出かけました。店内の様子を見せていただき、お店の方に質問をしたりしました。

「停電になったときはどうするのですか?」「一日に何人くらいお客さんが来ますか?」「一番大変なことは何ですか?」などなど、たくさんの質問に答えていただきました。

また、15日には、「大川ストア」見学にも行きました。ここでも、店の様子をメモしたり、わからないことを質問したりして興味深く店内を回っていました。



子供たちは事後の感想で、

- ・「店の前にお買い得の看板を置いて、お客さんを集める工夫があって、すごい。」
- ・「商品を手に取りやすい場所に置いたり、ななめにして見やすくしたりする工夫がしてあってすごい。」
- ・「おすすめの商品をわかりやすい（目立つ）ところに置いてある工夫がすごい。」
- ・「彼杵の荘には、3000種類もの商品が置いてあってびっくり!」

・「大川ストアで一番売れているのは『豆腐』だとわかった。」

・「ふつうのストアにないような商品を置いているのは、お客さんに興味をもってもらうためだと知ってびっくり!」

などなど、見学してみて初めて知ったことや、驚いたことをたくさん綴っていました。

地域に出かけて、直接お話を聞いたり、実際に店の様子を見たりすることで、この学習が、より鮮明に子供たちの記憶の中に残ることでしょう。

お忙しい中、優しく丁寧に対応してくださった地域の皆様、どうもありがとうございました!